

キュートな車止めに会おうまち

# 新千里北町

新千里北町は豊中市で最も標高の高い「てっぺんのみち」で、吹田市と箕面市に接しています。また、日本の住宅地開発の先駆けとなるまちづくりや道づくりの新しい考え方を導入しています。北町を歩くとかわい  
い動物の形をした車止めに会います。まるで小さなオブジェの野外美術館のよう  
です。



### モデルコース

- 1 花広場
  - 2 新千里東町2交差点
  - 3 北丘聖愛園
  - 4 アリス千里
  - 5 いぶき橋
  - 6 新千里北町近隣センター
  - 7 榎ノ木公園北側入口
  - 8 かしのき橋北詰
  - 9 アカマツ林
  - 10 せんりひじり幼稚園
  - 11 千里ライフサイエンスセンタービル
- 千里中央駅 北改札口 合計約3.8km



新住宅市街地開発事業の看板

北大阪急行  
千里中央駅  
北改札口

凡例 トイレ ビューポイント 駅改札口 A~G おすすめポイント P.23,24参照 ■ ■ ■ モデルコース ■ ■ ■ 近道コース



## ● てっぺんから眺めを楽しむ

新千里北町には豊中市の最高点（標高133.79m）があり、豊中の「てっぺん」のみちです。標高が高いため豊中市の柿ノ木受・配水場が設置され、市の北部地域に配水しています。また、まちの様々な場所から北摂山系や生駒山系（左写真）の見晴らしを楽しむことができます。



## ● 日本の計画的開発の先駆けのまちを知る

豊中市の千里ニュータウン開発は新千里北町からスタートしました。日本で初めてこのまちに導入されたものとして「新住宅市街地開発事業（※）」とまちをめぐる「歩行者専用道路」があります。この事業と道路づくりの考え方は、その後各地のニュータウンや大きな住宅地の建設に導入され、全国に普及していきました。（左写真）



※公共施設や商業施設を住宅地と一体的に整備する都市計画の事業で、今でも新千里北町には看板があります。 P.21参照

## ● サクラの四季をめぐる

新千里北町には、千里北町公園にあるどんぐり山の林やアカマツ林など、多様な樹種の林や並木が見られます。最も有名なのが外周道路や歩行者専用道路を彩るサクラ並木で、春だけでなく、紅葉の季節もまちを華やかに飾ります。



### 千里おもしろ話

#### ● 峠の茶屋

千里丘陵の最高峰の「西角瀬」（現在の新千里北町2丁目の北）には峠の茶屋がありました。お茶はもちろん名物の桃、あんずが店先に並べられ、浄瑠璃をうなる人、江戸おもてや京の情報を流す人であふれていたと伝えられています。北側の西国街道を行く参勤交代の大名行列のにぎわいも、きっとこの茶屋から感じられたことでしょう。

